
愛す人と花火(転)

ブータロー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛す人と花火（転）

【Nコード】

N5727C

【作者名】

ブータロー

【あらすじ】

ほら、見てください。きれいな花火が・・・これから白鳥警部と佐藤刑事は？

ここは、某町。

警視庁のあつてコナン達が在宅する街。

この大きな街にとある一人の女刑事が住んでいる。

誰からも信頼されていて活発な女性^{ひと}。

そして、警視庁でも人気であり性格も優しい。

そんな珍しい人種である佐藤美和子はある一つのマンションに留まっている。

いつもなら警視庁で仕事を行っていたものの今日は非番で休んでいた。

そんな彼女の一日ももう過ぎていく。

「佐藤さん。見てくださいよ・・・きれいな花火ですよ」

白鳥警部は、前の方向を見ながらつぶやく。

鮮明に光る花火をフロントウインドーから眺める。

「ん？何？」

佐藤刑事は頼杖をつきながら適当に対話する。

ため息を吐いて辺りの景色を眺める。

「いや、此処は佐藤さんでは無く”美和子さん”と呼んだ方がいいですか？」

さらつとそのセリフを吐く。そして、そのまま車のハンドルを握りしめて運転する。

「見てくださいよ。空に照らされているものを・・・きれいですよ。バン！とものすごく大きな音が響く。その音は車の中に入っけていても聞こえる。さまざまな色が空一面に照らされる。

「きれい・・・」
さっきまで呆気な表情をしていた佐藤刑事が、満面の笑みを浮かべる。
うっとりとしながら多色の花火をずっと見る。
すっかり花火に見とれる。

白鳥警部はそんな佐藤刑事の表情を確かめるように見る。
にこやかに笑う佐藤刑事を白鳥警部は、見惚れる。
運転速度が遅くなる。

（あ、しまった）
佐藤刑事に見とれてしていた白鳥警部は思わず別の方向へ車を走らせる。
人のいないところに行くように車を走らせて止める。

「どうしたの？白鳥君・・・」
急な出来事に佐藤刑事がつぶやく。

そのあとすぐに佐藤刑事手を握る。

「白鳥君？」

訳がわからなさそうな表情で白鳥警部を見つめる。

(美和子さん・・・僕はあなたを想っている)

白鳥警部は想いを込めて手を握りしめる。

花火が始まった。車が急に止まった。これからの二人は？

(後書き)

朝も早くから名探偵コナンノベルズに訪問するブータローです

白鳥サンと佐藤刑事の行く先は？

あの指輪とはいったい？

どうでしょう・・・

白鳥サンって佐藤刑事の事を途中から美和子さんって呼ぶようになってるのに・・・

私の中ではどうしてもわかっていても佐藤さんでは無いと落ち着かないんです(；；)

もうすでに更新されている方がいるようなので・・・私も結の最後の話を投稿します

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5727c/>

愛す人と花火(転)

2011年1月9日14時30分発行